



ミュージアム コレクションⅡ その1

吹田文明と 版画集『東京百景』

Museum Collection II Part1
FUKITA Fumiaki and the Print Collection
Tokyo Hyakkei, One Hundred Views of Tokyo

2020年8月29日(土) — 12月6日(日)

会場: 世田谷美術館2階展示室

開館時間: 午前10時～午後6時(入場は午後5時30分まで)

休館日: 毎週月曜日(ただし、祝・休日と重なった場合は開館、翌平日休館)

※9月21日(月・祝)、11月23日(月・祝)は開館、9月23日(水)、11月24日(火)は休館

観覧料: 一般200(160)円、大高生150(120)円、65歳以上/中小生100(80)円

*()内は20名以上の団体料金。*障害者の方は100円。ただし、小・中・高・大学生の障害者は無料。介助者(当該障害者1名につき1名)は無料。*小・中学生は土、日、祝・休日および夏休み期間は無料。*2020年9月5日から同時開催のミュージアムコレクションⅡ その2「再読!! 5つの物語—美術が語る夢と現実」もご覧いただけます。2020年8月29日～9月4日は、本展のみとなります。

吹田文明《江戸の花》1990年『東京百景』第2集より(後期展示)

※新型コロナウイルス感染症の影響により、会期を変更いたしました。
※会期中一部展示替えを行います。

前期: 8月29日(土)～10月11日(日)、後期: 10月13日(火)～12月6日(日)

世田谷美術館
Setagaya Art Museum

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2

Tel. 03-3415-6011(代表)

<https://www.setagayaartmuseum.or.jp/>

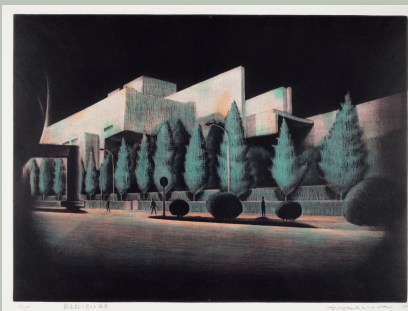
観覧会のご案内: 050-5541-8600(ハローダイヤル)

江戸から明治、大正、昭和、平成、そして令和へと、時代の変遷とともに様々な表情を見せる東京の風景。この魅力的なテーマで、古くは歌川重重の「名所江戸百景」をはじめ、小林清親の「東京名所図」など、これまで数多くの版画がつけられてきました。

社団法人 日本版画協会（現・一般社団法人 日本版画協会）が刊行した版画集『東京百景』は、1989年から1999年にかけて、東京をテーマに、100名の作家が1点ずつ版画作品にし、1994年を除いて、毎年10名の作家が10景を制作した版画集です。

参加した作家は、現代を代表する版画家はもとより画家や彫刻家も含まれ、技法も、木版画や銅版画、リトグラフなど、バラエティーに富んでいます。

東京というテーマの解釈も、各作家の個性が反映されています。1991年に丸の内から新宿へと移った都庁舎と周辺の高層ビル群は、多くの



深澤幸雄 《最高裁の見える風景》1989年
『東京百景』第1集より(前期展示)



利根山光人 《東京ラプソディー》1993年
『東京百景』第5集より(前期展示)

ミュージアム コレクションII その1

吹田文明と 版画集『東京百景』

作家が取り上げていますが、そこに表された景色はそれぞれ異なります。

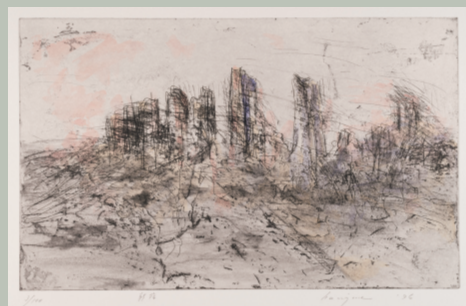
百人百様の『東京百景』は、途絶えることなく変化していく東京という都市が見せる時代の空気、人々の暮らし、あるいは、その都市の風景に触発された作家個人の眼差しやメッセージなど、様々な読み取り方が楽しめるものです。

そして、この版画集の企画に関わり、当館へ同版画集をご寄贈くださったのが、版画家の吹田文明(1926-)です。吹田文明は、1967年に第9回サンパウロ・ビエンナーレで版画部門最優秀賞を受賞し、日本版画協会の理事長を務めるなど、長きにわたり日本の版画界を牽引してきた世田谷区在住の作家です。本展では、版画集『東京百景』と併せて吹田文明の近作もご紹介します。

また、コーナー展示として、戦争によって焼け野原となった東京の復興を願って1945年12月に刊行された、版画集『東京回顧圖會』に収められた恩地孝一郎や、前川千帆などの版画作品もご紹介します。

※『東京百景』は前期(第1、3、5、7、9集)と後期(第2、4、6、8、10集)に分けてご紹介します。

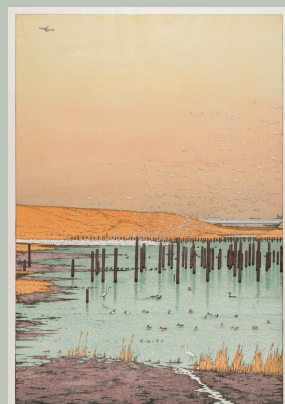
※新型コロナウイルス感染症の拡大防止及び抑制のため、ご入館に際し、マスクの着用、検温、連絡カードの記入のご協力をお願いしております。混雑時は入場制限をさせていただく場合がございます。
※展覧会の会期等が、急遽変更や中止となる場合もございます。最新情報は、当館ホームページ等でお知らせします。



野見山暁治 《新宿》1996年
『東京百景』第7集より(前期展示)



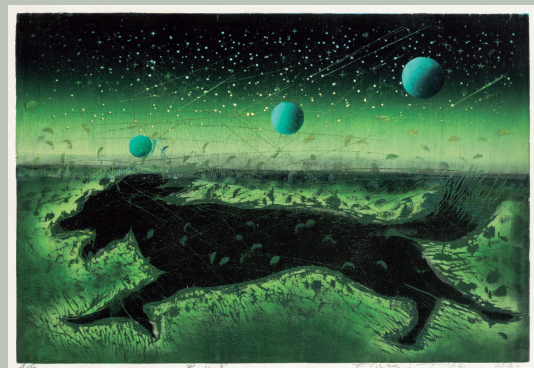
小林敬生 《1999-TOKYO (JAPAN) 一目黒、自然教育園からの遠望》1999年
『東京百景』第10集より(後期展示)



吉田遠志 《東京港野鳥公園》1990年
『東京百景』第2集より(後期展示)



中林忠良 《転位'90一地一上野》1990年
『東京百景』第2集より(後期展示)



吹田文明 《黒い犬》2014年

世田谷美術館
SETAGAYA ART MUSEUM

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2 TEL. 03-3415-6011(代表)
<https://www.setagayaartmuseum.or.jp/>
展覧会のご案内: 050-5541-8600(ハローダイヤル)

次回展 ミュージアム コレクションIII 「美術家たちの沿線物語 田園都市線・世田谷線篇」
2020年12月19日(土)~2021年3月28日(日)
世田谷美術館コレクション選 「器と絵筆—魯山人、ルソー、ポーシャンほか」
2021年1月5日(火)~2月28日(日)

- 東急田園都市線「用賀」駅下車 北口から徒歩17分もしくは、美術館行バスA「美術館」下車徒歩3分
- 小田急線「成城学園前」駅下車 南口から渋谷駅行バスB「砧町」下車徒歩10分
- 小田急線「千歳船橋」駅から田園調布駅行バスC「美術館入口」下車徒歩5分
- 来館者専用駐車場(無料、60台)東名高速道路高架下 厚木方面側道400m先。美術館まで徒歩5分